

活動名	GGG（ごうっグループワークゲーム）				
概要	○グループ単位で、協力しながら、与えられた課題解決型ゲームに取り組む。また、ゲーム終了ごとに振り返りを行い、気づきの共有化を行う。				
ねらい	○ゲームを通してコミュニケーション能力を育てる。 ○ゲームを達成することで、仲間がいることの大切さや楽しさに気づく。				
関連教科等	学活・道徳・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	中学年～
場所	第1研修室 屋外集会所 他	人数	～40人程度 (6～10人/1グループ)	所要時間	2～3時間・
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	ゲームに必要な道具、バインダー、筆記用具			活動に適した服装、帽子	
進め方・展開例					
	内容			留意点	
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・物品の受け渡し（準備物参照）			○荒天時の場合の活動場所を確認する。 ※雨天の場合も実施可能	
活動の説明	○人間関係づくりゲームをすることを伝える。 （時と場合に応じて臨機応変に、「活動の目的」や、「活動中に意識していくこと」などを伝える）			○活動前に簡単なアイスブレイクゲームを行うとスムーズに活動に入れる。 ○各グループに大人が同行する方が望ましい。 （答えを教えるのではなく励ましたり様子を観察したりするため）	
展 開	○ゲームのすすめ方は以下の流れで行う。 ・ルール説明⇒ゲーム開始⇒振り返り ⇒次のゲーム⇒振り返り⇒次のゲーム			○1つのゲームにかかる時間は最大45分くらいがよい。（振り返りを含む）	
	活動名		概 要		
	浅利富士をつくろう		グループで協力しながら、特製マジックハンドを使って木片を積んでいきます。		
	ラインナップ		板の上にグループの全員が乗り、指示に従って落ちないように並び替えをします。		
	協力的一本橋		4～7mの丸太の上を手をつないで渡りきります。		
	バンブーライン		竹製の短い筒を一人一人が持ってつなげ、目的地まで球を運びます。		
	フープリレー		グループ全員で輪になって手をつなぎ、フラフープを1周させます。		
	キャッチボール		ウニボールでキャッチボールをします。キャッチした場所の得点を足し、チームで高得点を目指します。		
	バケツボール		班のみんなでシートの端を持ち、シートをあおりながらボールをバケツの中に入れます。		
	キャッチング・ザ・スティック		リズムに合わせて2本のスティックを打ちつけ、右へ移動していきます。		
※仲間づくりゲームとして、用具の貸し出しもできます。					
まとめ	○全体を通しての振り返りを行い、感想や学んだことなどを皆で共有する。 ○振り返りを通して感じたことを、整理して学びとして定着させる。 ○活動で得た学びは、決してGGGのゲーム時間だけでのものではなく、後の活動や、日常生活でも生かしていくよう促す。				
評価	○ゲーム中や振り返りの時に、自分の意見を発言したり、他者の意見を聞くことができたか。 ○グループの中で、積極的に活動に参加し、達成の喜びを共有できたか。				
発展	○GGGでの学びは、その活動時のみの学びではない。次からの活動や日常生活でも生かしていくよう、団体指導者から随時伝えていくことが大切である。				